



事業者達成状況報告書

令和元年7月19日

鳥取県知事 平井 伸治 様

届出者 住所 広島県広島市南区段原南1丁目3-52

氏名 イオンリテール株式会社
中四国カンパニー支社長 浜口 好博
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

鳥取県地球温暖化対策条例第8条第5項(第9条第3項)の規定により次のとおり提出します。

住所(主たる事業所の所在地)	広島県広島市南区段原南1丁目3-52						
氏名(名称及び代表者の氏名)	イオンリテール株式会社 中四国カンパニー支社長 浜口 好博						
主たる業種	56 各種商品小売業						
該当する事業者要件	<input checked="" type="checkbox"/> 鳥取県地球温暖化対策条例施行規則第4条第1号に該当する特定事業者 <input type="checkbox"/> 鳥取県地球温暖化対策条例施行規則第4条第2号に該当する特定事業者 <input type="checkbox"/> 鳥取県地球温暖化対策条例施行規則第4条第3号に該当する特定事業者 <input type="checkbox"/> 特定事業者以外の事業者						
計画期間	平成28年4月 / ~ 平成31年3月 /						
温室効果ガスの排出量等	排出区分	基準年度(実績) (平成27)年度 (二酸化炭素換算)	目標年度(計画) (平成30)年度 (二酸化炭素換算)	増減率	報告年度(実績) (平成30)年度 (二酸化炭素換算)	増減率	
	排出量(1)	11,770.3 t	11,420.0 t	△ 3.0 %	11,859.0 t	0.8 %	
実績に対する自己評価	7月8月は豪雨と猛暑が続き空調がフル稼働となり電気が大きく増えた。また、冬からは気温が上がり店内の空調については暖房時期が少なかった為使用量が少なくなった。						
原単位当たりの温室効果ガス排出量等	用途区分	原単位の指標	基準年度(実績)	目標年度(計画)	増減率	報告年度(実績)	増減率
	イオン日吉津店(スーパー)	二酸化炭素換算延床面積	60.93 t-CO2/千㎡	59.10 t-CO2/千㎡	△ 3.0 %	61.66 t-CO2/千㎡	1.2 %
	イオン鳥取店(スーパー)	二酸化炭素換算延床面積	104.11 t-CO2/千㎡	100.98 t-CO2/千㎡	△ 3.0 %	101.97 t-CO2/千㎡	△ 2.1 %
	イオン鳥取店(スーパー)	二酸化炭素換算延床面積	65.27 t-CO2/千㎡	63.31 t-CO2/千㎡	△ 3.0 %	74.28 t-CO2/千㎡	13.8 %
	イオン津ノ井店(スーパー)	二酸化炭素換算延床面積	286.69 t-CO2/千㎡	278.08 t-CO2/千㎡	△ 3.0 %	280.26 t-CO2/千㎡	△ 2.2 %
	イオン米子駅前店(スーパー)	二酸化炭素換算延床面積	57.36 t-CO2/千㎡	55.63 t-CO2/千㎡	△ 3.0 %	54.77 t-CO2/千㎡	△ 4.5 %
	実績に対する自己評価	イオン鳥取店の改装にて、空調家電の入替を実施したが、電気使用量が大きくなり年間通じ苦しい。他の店舗では特に下期の暖冬により、空調、冷蔵冷凍電気の使用量が少なくなった。年間では昨対での使用量は99.1%となった。					
寄与的取組	取組区分	目標年度(計画)		報告年度(実績)			
		実数値	二酸化炭素換算の削減量	実数値	二酸化炭素換算の削減量		
	再生可能エネルギーの利用による電力又は熱の供給	(売電量) kWh (熱供給量) GJ	t	(売電量) kWh (熱供給量) GJ	t		
	再生可能エネルギーの利用による二酸化炭素の排出削減の量等を表すものの購入	(購入量)	t	-	t		
	森林保全による二酸化炭素の排出削減の量等を表すものの購入	-	t	-	t		
	電気、ガスその他のエネルギーの使用の合理化による二酸化炭素の排出削減の量等を表すものの購入	(購入量)	t	(購入量) GJ	t		
削減量等合計(2)	0 t		0 t				
差引排出量(1)-(2)	基準年度(実績)	目標年度(計画)	増減率(計画)	報告年度(実績)	増減率(実績)		
	11,770.3 t	11,420.0 t	△ 3.0 %	11,859.0 t	0.8 %		
推進体制	弊社はISO14001を取得し、その推進体制に基づき環境負荷の軽減やエネルギーの使用削減に取り組んでおります。各店舗において店長はISO推進責任者、人事総務課長はISO推進担当者として、電気使用量・資材使用量の削減目標を設定しています。各担当者は、それぞれの部署ごとに進行管理を行い、削減目標と削減実績を見える形で従業員に提示しさらに削減に向けて取り組んでいます。						
	年度	設備、対象、工程等	内容				
	特に無し						
地球温暖化対策に資する社会貢献活動	イオンでは、国内外の植樹活動、買物袋持参運動、環境配慮型商品の販売、店頭リサイクル活動、故紙回収リサイクル、電気自動車充電ステーションの設置、イオンチアーズクラブ(エコクラブ)活動などを通じて環境活動に取り組んでいます。買物袋持参運動については鳥取4店舗でレジ袋無料配布中止を実施し、有料レジ袋収益金は地域の環境保全先に寄付致しております。						
特記事項	次年度に向けて、更なるエネルギー使用の削減について取り組んでいきます。						

注1 該当する□には、レ印を記入してください。
 注2 本計画書における温室効果ガス排出量は地球温暖化対策の推進に関する法律第21条の2第3項に規定する「温室効果ガス算定排出量」の算定方法と同様の方法により算定した量をいいます。
 注3 本計画書は鳥取県内における事業活動について記載してください。
 注4 主たる業種には、統計法(平成13年法律第53号)第2条第9項に規定する統計基準として定める日本標準産業分類のうち中分類を記入してください。
 注5 「基準年度」とは計画期間の前年度を、「目標年度」とは計画期間の最終年度をいいます。
 注6 「原単位当たりの温室効果ガス排出量等」の「用途区分」には、○○工場、事務所などの用途を記入してください。「原単位の指標」には、分子の「二酸化炭素換算」の下に分母となる指標(生産数量、延べ床面積、走行距離等)を記入してください。
 注7 「特記事項」には、平成2年度(1990年度)を基準とした排出量の対比や省エネ製品開発など他者の温室効果ガス排出削減への貢献、グリーン調達を採用などを記入してください。